

授業科目

人間発達学

担当教員名 伊藤 加代子	対象学年	2	対象学科	理学・作業・義肢
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	○	○	○

授業の概要

人間は、生涯、発達し続ける存在である。理学療法士として患者に接する際には、患者がどの発達段階にあるのかを理解することが大切である。また、人間としても自らが成長するためにも、各世代における発達課題を理解することが重要である。

人間発達学では、各ライフステージにおける発達課題について概説する。

授業の目的

人間は、生涯、発達する存在であるとの観点から、人間を生物学的、社会的および心理学的に理解することを目標とする。

学習目標

1. 人間の発達を生物学的に理解する
2. 人間の発達を社会的に理解する
3. 人間の発達を心理学的に理解する

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	人間発達学総論 人間発達学の研究方法・発達の一般原理	講義	伊藤 加代子
2	身体発達 運動機能の発達	講義	伊藤 加代子
3	認知機能の発達 感覚・味覚・嗅覚・触覚・視覚・聴覚・パターン認知・記憶・言語	講義	伊藤 加代子
4	情緒と社会性の発達 大脳機能・情緒とは・家族としつけ・学校と社会性	講義	伊藤 加代子
5	パーソナリティの発達 乳児期・幼児期・学童期	講義	伊藤 加代子
6	青年期 ホルモン・体格・第二次性徴・両親異性との関係	講義	伊藤 加代子
7	成人期 老年期	講義	伊藤 加代子
8	まとめ		伊藤 加代子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	人間発達学	上田礼子	医歯薬出版	2008年	2,950円+税	
参考書	人間発達学	福田恵美子	中外医学社		2,600円+税	
その他の資料						

評価方法

記述試験

履修上の留意点

出席が3分の2に満たない場合は、試験の受験を認めないこともある。

オフィスアワー・連絡先

k-ito@dent.niigata-u.ac.jp